

# HTLV-1 感染症について

(国立感染症研究所)ホームページより)

## (ウイルス名)

ヒトT細胞白血病ウイルス human T-lymphotropic virus type 1 (HTLV-1)

## (HTLV-1 の感染経路)

○HTLV-1 感染には感染細胞が他の T 細胞に接触することが必要で、母乳を介するもの以外の感染経路は、血液の移入(輸血、臓器移植、注射)と性交に限定される。

○文献的には、輸血により約 60%感染するとされているものの、我が国では 1987 年に輸血用血液のスクリーニングが導入されて以来、輸血感染は消滅している。

○性交による感染は、結婚後 2 年で 20%程度に男性から女性に感染するという。我々の調査では、キャリア母親の子供の約 20%に感染を認めた。

## (疫学)

○沖縄、鹿児島、宮崎、長崎各県のキャリア率は約 5%で、世界的にみても最も HTLV-1 地域集積性が強い。これらの人口は日本全国の約 4.6%であるが、国内キャリアの 1/3 を占める。人口比約 1%(約 150 万人)の長崎県では、全国平均の 10 倍、年間約 70 例の発症と死亡が確認され、他のすべての白血病とリンパ腫の合計に匹敵する。大都市ではキャリアの多くは高浸淫地出身者の子孫で、そこでの率は低いが絶対数は全国の約半数である。